

■地域名 松本市東山部地区(入山辺、内田、里山辺、中山、神田、大寄崎集落)

■特徴的な被害対策 「東山部地域」における広域的な対策

1 地域の概要

	集落戸数	加害鳥獣	被害農作物等	備考
	うち農家			
	8,516	ニホンジカ、イノシシ	水稻、そば、野菜 等	

2 実施した被害対策の内容

区 分	実施に当たって工夫等したポイント	
これまでの経過	<ul style="list-style-type: none"> 平成 18 年頃よりニホンジカによる被害が深刻化しており、個々の農家等で対応していた。 平成 19 年から市単独事業により簡易ネット等による防除を行う。 平成 21 年 12 月に「東山部地域」における広域的な対策を検討。各集落代表者、市、県等関係者により抜本的な方策を検討 →恒久柵(金網)の設置を決定 平成 22 年 1 月から随時に各集落にて説明会、現地調査を実施 H21 年度 中山地区にて防護柵を設置 H22 年度 中山地区～入山辺地区(神田、大寄崎、里山辺、入山辺)にて防護柵を設置 H23 年度 内田地区を計画 	
被害対策	◇生息環境対策	平成 22 年 緩衝帯整備 中山地区約1ha(造林事業) 中山地区 約1ha(鳥獣被害防止総合支援事業)
	◇防除対策	平成 21 年度 中山地区 防護柵L=13km(事業費 50,000 千円 耕作放棄地再生利用緊急対策事業) 平成 22 年度 入山辺地区～中山地区(神田、中山、入山辺、里山辺) 防護柵L=4.9km(事業費 14,700 千円、農山漁村地域整備交付金) ・防護柵の設置にあたっては、地域住民による無報酬(労務提供方式)で施工
	◇捕獲対策	・捕獲資材(くくりわな)の購入(ソフト事業活用)、 ・捕獲免許の取得に向けた事前講習(中山地区 9 名がワナ免許取得) 猟友会員の協力 ・捕獲に係る技術講習会(関係者 35 名参加)
効果	被害状況	・H21年度、22年度の防止柵設置により、ニホンジカ、イノシシによる被害はかなり減少した ・防止柵実施により、耕作放棄地の再生に繋がった
	その他特記事項	各地区で分担して、防止柵建設委員会を立ち上げて、ルート選定、資材検討、地域住民への説明・同意を行い、地域一丸(農家・非農家)で実施した
農家の方からのコメント	①安心して耕作が可能となった、②耕作放棄地の解消(再生)、③環境の変化(シカ交通事故の減少)、④野草の復活	

3 これからの課題

失敗した事柄	
これからの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・防止柵の起終点(未設置箇所)からの侵入、隣接地域(市町村)との調整 ・防止柵導入後の維持管理体制 ・柵の内側に残る個体の捕獲 ・補助事業の採択状況に左右される ・捕獲個体の有効活用(ジビエ)

4 成功に至ったポイント

野生鳥獣被害対策支援チーム	地域(集落)を取りまとめるリーダー(キーマン)が存在することで、地域一丸となって事業実施に繋がった。
---------------	--

5 問合せ先

野生鳥獣被害対策 松本地方部
 林務課 林務係 電話 :0263-40-1926 E-mail: matsuchi-rimmu@pref.nagano.lg.jp
 農政課 農村振興係 電話 :0263-40-1916 E-mail: matsuchi-nosei@pref.nagano.lg.jp
 普及センター 電話 :0263-40-1945 E-mail: matsumoto-aec@pref.nagano.lg.jp